

YMCA News




「キャンプだホイ！」



♪キャンプだホイ! キャンプだホイ! キャンプだホイホイホイ!
はじめて見る山 はじめて見る川 はじめて泳ぐ海(ラーラーラー)
今日から友だち 明日も友だち ずーっと友だちさー♪

え? 何の歌か知らないって? そんな君はまずYのキャンプに行ってみよう。必ず歌われるから。

キャンプと言われて思い出すのがこの歌。それくらいインパクトがあった。何がインパクトだったかって、この歌をどち狂ったように歌ったこと。はじめて見た(聞いた)時はエッ...って思うけど、キャンプ3日目の夜にはみんなと一緒に大声出して歌っちゃう。それがめっちゃくちゃ楽しい。

あらためて歌詞を見返すと、いい歌だなと思う。歌詞のとおり、はじめて行く場所で、周りもはじめて会う人たちばかりなだけで、一緒に遊んで、ご飯を作って、お風呂に入って、テントで寝るうちに友だちになってる。気持ちがぶつかることもある

けれど、発見もある。こんなおもしろいやついるんだとか、自分ってこんなに楽しめるんだとか。

自分の周りについても同じ。海ってこんな生き物いるんだとか、山ってこんな遊び方できるんだとか、火ってこうやってつけるんだとか、たくさんを知れる。それが楽しい。そして歌う。大自然の中で大きな声で歌うって、こんなに楽しくて気持ちいいんだって感じる。音程なんか関係ない。歌詞もあやふやで十分。楽しんだもん勝ち。

思い出すだけでワクワクする。それがキャンプ。
今年もキャンプがやってくる!
さぁ歌おう!

♪アブラハムにーはー 7人の子♪
これは別の歌だったか...

社会福祉法人 カナンの園 生活支援員
盛岡YMCAボランティアリーダーOB 中村光晴
(おかわりリーダー)

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

リーダー新歓報告



今年度の学生ボランティアの新生勧誘は3月に行った第1回目の説明会の参加者が0人、4月に行った第2回目の説明会に2人が参加と厳しい状況からスタートしました。「これはマズい!!」となり、「目指せ100人!!」を目標に大学ごとで独自イベントの企画、開催や各大学で2回の説明会の実施、SNSでの呼び掛けの強化、計3回の新歓イベントの実施を行いました。それらの活動によって、計3回の新歓イベントでは岩手大学の学生は参加できない状況でしたが、毎回20名以上の新生に参加していただきました。

5月1日のイベントでは、コロナ対策の観点から急な日程変更、企画内容の変更という状況の中ではありませんでしたが、午前中の火付け練習、午後のプログラムもケガや事故もなく全員が楽しむことができました。また、勧誘や活動に制限がある岩手大学も、オンラインでの勧誘に力を入れ、新生の心を掴めるように活動をしました。



そして、5月からは県立大学、盛岡大学の新生は続々と各活動に参加しています。岩手大学の新生はまだ活動には参加できていませんが、オンラインでの活動に参加し、今できることに全力を注いでいます。



これからの活動では新生も加えて、ますますYMCAの活動をリーダーの立場から盛り上げていきます。これからもよろしく願いいたします。

盛岡YMCAリーダー会長 十文字堅斗(おびリーダー)

4月野外活動報告



こんにちは!アンパンマンより元気がみなぎるあんこです!4月26日に、都南つどの森で野外活動「春の森探検」を行いました。当日は26名の子どもたちと10名のリーダーが参加しました。コロナ流行の影響によって対面での活動が実施できていなかった中、約半年ぶりに子どもたちと外に出て活動を開催することができ、本当にうれしかったです!

今回の目玉は、グループごとに地図が配られ、そこに書かれている春や森の自然を生かしたミッションをクリアしながら、財宝である「金の松ぼっくり」を広い森の中で探す、宝探しアドベンチャーを実施したことです。



たくさん子どもたちがお宝ゲットに向け、目を輝かせていました。そして、森にある様々な花や虫に触れ、森の空気を十分に堪能しながら春を全員で満喫しました。



フリータイムの時間では、鬼ごっこやだるまさんが転んだ、池でオタマジャクシ取りなどたくさん遊びを子どもたちと楽しみました。中には野外ステージを使って漫才や寸劇をすることもありました。

いろんな遊びを満喫した分、時間が過ぎるのもあっという間で、子どもたちの中には終わりの時間になると「ええ!?もう終わり!?!」と残念な表情を浮かべる子どもも多く見受けられました。それほど今回の活動は子どもたち・リーダーにとって楽しかったものであり、活動を通して金の松ぼっくりよりも非常に貴重な「思い出」という財産をゲットすることができたのではないかと感じています。

岩手県立大学 海和将太(あんこリーダー)

5月サンデー報告



5月8日にZOOMで「オンラインゲーム大会」を行い、当日は子ども6名・リーダー8名が参加しました。今月の活動は、当初「キャンドゥポットキャンドル作り」を行う予定でしたが、コロナウイルスの影響で対面での活動が難しくなり、急遽「オンラインゲーム大会」に変更して行いました。その為、今回は子どもたちに楽しんでもらうこと、今後の活動にも来たいと思えるようなきっかけを作ること为目标として準備を進め、本番に臨みました。

アイスブレイクの「だるまさんが〇〇した」では、出されたお題に合わせて様々なポーズをとったり、変顔をしたりして遊びました。最後のお題は写真を撮るときのポーズ。「ハイ、ポーズ!」のかけ声に合わせて、みんなカメラに向かって素敵な笑顔を見せてくれました。メインプログラムの「犯人は誰だ!?大捜索ゲーム」では、お菓子を盗み食した犯人を見つけるために、バランスゲームやクイズなどのミッションに挑戦しました。参加した子どもたちは自分のお気に入りのぬいぐるみを見せたり、最近の出来事や好きなものの話をしたりするなど、リーダーとの関わりをととても楽しんでいる様子でした。

今回は、サンデースクール初のオンラインでの開催で不安もありましたが、1時間があっという間と思えるくらい充実した時間を過ごすことができました。6月の活動「ヒーローショー」で、また子どもたちとたくさん遊べるのを楽しみにしています。

盛岡大学4年 村上詩織(こんぶりリーダー)





6月で、カタールワールドカップまで残り半年を切りました。今年はワールドカップイヤーであり、サッカーのための年といっても過言ではないと思います。サッカーを見ることの魅力は楽しく熱くなれることです。それ以上にプレーすることは熱狂できます。普段は我が子の様子を見ていらっしゃる保護者の皆様、子ども達と一緒にサッカーしませんか。

その機会にうってつけのファミリーサッカーフェスティバル開催のお知らせです。このイベントはその名の通り、ご家族で参加可能なYMCAサッカーの祭典です。毎年、多くのご家族と才色兼備なリーダーの参加により、非常に活気に溢れた良い雰囲気です。そして何より子ども達の表情がキラキラしています。その表情はさながら鮮やかに咲く紫陽花のようです。より沢山の笑顔の花を咲かせるためには多くの皆さんの参加が鍵となります。我々リーダーもより楽しめるようなイベントになるよう尽力しますので、ぜひ奮ってご参加いただければと思います。

上野航大(チャームリーダー)

- 1.日時 6月26日(日)
10時受付
10:30開始 14:00終了
- 2.場所 岩手県営運動公園
第2グラウンド



待ちに待ったサマーキャンプ!

「やっぱりキャンプは良いな...」そんなことをキャンプが終わるたびに思い直す私、ゴリナから今年のサマーキャンプをご案内!今年なんと、4つのキャンプを予定しています。

1つ目は、幼児から小学3年生までが対象の1泊2日のわんぱくキャンプ。初めて、キャンプに参加する子どもたちが毎年多く、チャレンジのキャンプとなっています。帰る頃には、子どもたちのとてもたくましくなった表情に驚きます。

2つ目は、こちらも1泊2日の森の大自然満喫キャンプ。とっても広い外山森林公園キャンプ場で探検したり、キャンプファイヤーをしたりと、わくわくが盛りだくさんのキャンプです。様々な生き物に出会えるのも魅力の1つです。



3つ目は、2泊3日の川の大冒険キャンプ。北上川をボートで探検したり、釣りをしたり、川遊びをしたり、まさにアドベンチャーキャンプ。刺激たっぷりの3日間になること間違いありません。

4つ目は、3泊4日の島のわくわくキャンプ。気仙沼大島のキャンプ場で、海を感じながら4日間を遊び尽くします。海水浴はもちろんのこと、最終日の夜に行う自分たちで作上げる夏まつりは今や毎年恒例行事となっています。

もりおかワイズメンズクラブからのお知らせ

YMCAの活動では、大学生のボランティアリーダーの活躍が欠かせません。その一方で、あまり知られていないかも知れませんが、YMCAには、学生リーダーのようにYMCAが大好きで、YMCAの活動を日々支えて下さっている大人のボランティアの人たちの集まりがあります。それがワイズメンズクラブです。これから、シリーズでワイズメンズの働きを紹介していきます。

▼ワイズメンズクラブって?

ワイズメンズクラブは、青少年の育成団体であるYMCAの活動を支援することを第一の目的として、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。

1920年米国オハイオ州トレドのYMCAで、初めてワイズメンズクラブがYMCAの会員増強運動のグループとして誕生しました。ワイズメンズクラブとは「Y(MCA)の人達」という意味です。

この運動はやがて北米各地のYMCAに広がり1922年にはワイズメンズクラブ国際協会が設立されました。以後、全世界にクラブが次々と誕生し、現在では63の国や地域に約1,400のクラブがあり、約2万5千人の成年男女の会員が、YMCAを支援し、青少年育成、地域・国際奉仕活動を行っています。



▼もりおかワイズメンズクラブは

もりおかワイズメンズクラブは、2007年2月17日、21名のメンバーで誕生しました。2011年の東日本大震災では宮古市にボランティアセンターを立ち上げた盛岡YMCAをサポートし、寄付の募集、ボランティアセンターの施設の建設などメンバー一人ひとりの経験を活かして多方面からバックアップを行いました。現在は、「チャリティーラン」「国際協力募金」「ピンクシャツデー」の開催支援。また、活動の中核を担う学生ボランティアの研修等の支援を行っています。

キャンプは、たくさんの気づきがあります。当たり前前の生活が当たり前ではないことに気づいたり、1人じゃできないことも仲間となら乗り越えられたり、こんな自分がいたんだ、こんな楽しさがあったんだと、キャンプで学ぶことはたくさんあります。



今年は、どんなキャンプになるのか。どんなことに気づかされるのか。子どもたちと今年も安全に、楽しいキャンプを作り上げていきたいです。

サマーキャンプディレクター 武田悠



【しらたま】



こんにちは!甘い物大好き♡食べるの大好き♡泳ぐの大好き♡しらたまです。現在大学で先生になるための勉強をしています。趣味はもちろん食べることと泳ぐこと!ここで終わらないのがしらたま。ケーキだっどご飯だっどなんだっど食べたいものは作ります(笑)。最近では友達誕生日ケーキや母の日にNYチーズケーキを作りました。夏に向けてわらび餅などの和菓子も作ろうと計画中です!

現在は主に水、木、金曜日の水泳とサポートプログラムに参加しています。授業の関係で月曜日の水泳に行けなくなってしまって本当に悲しいです...なぜこんなに水泳の活動に行っているか、と聞かれば即答!水泳が好きだから!!1歳の頃から水泳をやっているしらたまは高校生までは大会にも出場するスイマーでした。YMCAは水泳の活動があり子供とも関わられるということを知り、魅力的に感じたので入ることを決めました。水泳の活動を通して水と友達になり水泳を好きになってもらいたい!と思っています。子供たちはいつも目を輝かせ、有り余った体力をフルに活かして元気に動き回っていて本当に可愛く感じています。YMCAに入って子供たちから学ぶことが沢山で、多くの経験ができていますのみならず自分の知見も広がっていると日々感じています。先輩やスタッフのように上手に関わらず未熟に感じることは多いですがこれからも積極的に活動に参加して成長していきたいです。

次回予告!次回は一緒にサポートプログラムで活動しているサッカーや水泳の活動に参加しているまめふくりーダーの紹介です!

盛岡大学文学部児童教育学科2年山口満穂(しらたま)

表紙の
写真から



昨年度の島のわくわくキャンプの海水浴での一枚。気づけば、生活グループを超えて、新しい友達ととっても楽しく遊んでいました☆

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram



梅雨が始まり、じめじめと蒸し暑い日が増えてきました。梅雨は細菌性の食中毒がおきやすい時期です。カビが発生しやすいように、雑菌も繁殖しやすいこの季節。食品はなるべく早めに冷蔵庫に保存する、調理器具の消毒をいつもよりこまめにする等、気を付けて過ごしましょう。

皆さんは「あんばい」という言葉を知っていますか?料理の味加減を見たり、「今日は体のあんばいが悪い」「空のあんばいがよくない」等、体や天気の様子を考えたり、「あんばい」と言うひとことで済ませる便利な言葉ですね。そんな「あんばい」ですが漢字で書くと「塩梅」になります。今回は、「塩梅」と「梅雨」になぜ「梅」の字が使われるのか、そして食材の旬の話を書きたいと思います。

「梅雨」は元々、中国で梅の実が熟す頃に雨が降るので梅の字を使うようになったのが、日本にも伝わったといわれています。また、「塩梅」とは調味料の塩と梅酢のことで、梅酢は梅干しを仕込む際に出来るもの。味の基本は、甘味・塩味・苦味・酸味・うま味と言われています。この酸味を出すのによく使われたのが梅酢でした。そこから、調味に使われる塩と梅酢を「塩梅」、味加減のことも「塩梅」と言うようになりました。梅が収穫される今の季節、梅干しを作るために三日間は日光に当て、干さなければいけません。梅雨どきに、空の「あんばい」を見ながら梅仕事をされている方々にとっては、天気にも左右されてしまう梅の旬になりますね。

また、食材の旬の「はしり」を食べると縁起がいい、長生きをする、なんて言われています。

「はしり」とはその季節に初めて収穫されたもの。初物の希少価値から値段は少々高めになりますが、それでも食べたくなってしまうですね。やがて、食材が最も美味しくなる「さかり」がやってきます。そして旬の終わりの「なごり」。水分が減り、固くパサパサする物もありますが、中にはなごりが一番美味しくなる食材もあるそうです。来年もまた美味しく食べられますように、と名残惜しみながら食べることで旬の食材を感じることができます。

旬とはその食材が、生育条件がそろった環境で育てられ、成熟している時期です。旬の食材の味はもちろんのこと、一年を通して食べられている中で最も栄養価が高いとされています。

「春は芽を食べ、夏は葉、秋は実、冬は根を食べる」という話を和食の先生から教わったことがあります。

春の山菜には、胃腸の働きを優しく目覚めさせてくれる役割があり、夏には体を冷やす成分が含まれていたり、酸味のある野菜で食欲を増進させてくれます。秋には甘い果物で冬に備え、冬には体を温める根菜が旬を迎えます。

旬の食材を美味しく感じるのには、その時期の体が必要としているからなのです。四季折々の食材を美味しく食べながら、季節を感じてみるのも良いですね。

盛岡市内保育所調理師
ぷらいむ・たいむ向中野校メンバー保護者
藤原 留美



(2022年度4.5月新規会員) 敬称略

●2021年度 維持会員

花田瞳、中原真澄、西宮ワイズメンズクラブ、長岡正彦、小山憲彦